

## ((~\*)) 2~6年生がNRT全国標準学力検査実施しました



全国の多くのお友達と自分の前年度までの学力とどうであったかを客観的に児童側も教師側も保護者側も把握するための学力検査を本日国語科と算数科において実施しました。5・6年生は社会科と理科の学力検査が明日も実施されます。では、NRT 全国学力検査についてご説明いたします。その前に、学校だより10号でお示した東京書籍（東書）の標準学力調査は？NRT 検査とどう違うの？と思われる方も多いと思います。東書は「**目標準拠評価方式**：設問トータル期待得点値70%」スタイルの検査で、東書のそれぞれの設問に期待する目標値が受検者の成績に依存しない絶対評価的に用いることができる目標値です。簡単に申しますと、教師側が分析するとき、東書の期待する目標値が60%なのに伊岐須小のクラスが80%取っていたらクラスの理解力が高いクラス。逆に伊岐須小のクラスが40%だったら、理解度が低いクラス。となります。学校だよりNo



10の東書の標準学力検査の結果は全国平均をはるかに超えていましたので「**伊岐須小学校（飯塚市内19校も同じです。）は総合力として全国的に優れている学校。**」となります。では、本題の今回のNRT 全国標準学力検査（NRT）は？ですが、この検査も日本の教育現場で広く実施されている標準学力検査であり、この検査は、全国の同学年の平均と比較して学力を把握するためのもので、偏差値や全国順位を示す性質があります。つまり、NRT は、**相対評価法（方式）**に基づく標準学力検査であり、**全国平均との差や上位何%かを示す指標として利用されます。**相対評価を簡単に申しますと、昔の通知表が絶対評価を加味したもののほ

ぼ**相対評価オンリー**でした。5段階評価ならクラスに得点の高い子が多ければ1割が評定5、次の1割が評定4であとはみんな評定3、そこそこいい点を取っていても評定2や評定1の子の割合が決まっていたので得点が悪くても通知表は評定1や2や3が多かったわけです。

しかし、NRT は、教育を総合的にサポートする役割を果たしてきています。教育指導の成果と課題の検証やその改善に役立てるために、全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握するためのものです。

今回のNRT の結果は、**教育目標の達成度や相対位置を示し、教育指導の成果を確認するために活用**されます。また、学習指導の水準をきめるとき、目標水準が児童のレベルに合わず高すぎると無理が生じ、低すぎると無駄が生じるため、標準学力検査で客観的な資料を得ることで児童のレベルに合ったカリキュラムを教師は構成することができます。伊岐須小学校の昨年度のNRTデータを調べてみますと**全国の指数を100%として比較**しますと、国語科と算数科の総合得点率は**93.6%**とやや低い割合でしたので、**これを受けて昨年度1年間の先生方、家庭、そして、児童が自分の力（東書の学習到達度をみる絶対評価の検査で全国越えの力）を信じてあきらめず**に本日もいつも通りに問題に取り組めば学校だよりNo10のような素晴らしい結果となります。見方・考え方の視点を変えてみますとあきらめない心（非認知能力）が伊





岐須小のお子さんに備わっているかを見る検査でもありません。実力はあるのに万が一思わしくない結果が出れば、**通常**の学習は優れていると実証済みなのでありますから、非認知能力（各分野やジャ

ンの本物ともっともって出逢わせ、希望や耐性やあきらめない心や仲間を思いやる心、自分や様々な人や動物や植物の命に感謝し、大切に思う心）をはぐくむ研究を進めていくことにシフトする必要があります。（写真は、今日のNRT 受検前の脳の活性化を図るウォーミングアップ段階の朝のイグスタイムの様子です。受検時にシャッター音が鳴ると気になる子もいますので…4年生から順に6年生と掲載いたしております。すごくよく集中して取り組まれていました。）(.)

**((\*~\*)) 5年生のみなさんが飯塚国際車いすテニス大会の観戦にいき、それぞれ思いを持つことができました。**



昨年度は飯塚国際車いすテニス大会ジャパンオープン観戦参加が抽選漏れでかなわなかった本校伊岐須小の5年生の仲間たちは、2026大会においては、送迎バス付観戦抽選に見事当選し、観戦が実現することとなりました。

伊岐須小学校5年生の児童の皆さんは、観戦を通じてアンドリュース選手をはじめ出場選手の皆さんや、アンパイヤー、スポーツサポーターの皆さん（ガット張

替え業者さん、通訳のみなさんを含む）事務局（計時・得点集計者、リーフレット製作者含む）の皆さん、小・中・高校のボランティアの皆さん（ボールボーイやボールガール）、NPO 法人九州車いすテニス協会の皆さん、飯塚市役所をはじめとする行政の皆さん、飯塚市社会福祉協議会の皆さん、応援企業の皆さん、マスコミュニケーションの皆さんや私たち観戦者や、医療ドクターや医療チーム、滞在ホテル関係者、選手送迎関係者、誘導ボランティアの方々、飯塚庄内緑地公園関係者のみなさん、イベント企業（移動食料店さん・お弁当業者さんを含む）、機材輸送等（観客輸送のバスやタクシーの運転士さんを含む）関係者のみなさんなど数えきれない方々が大会を支えていらっしゃいます。以上の方々すべての方の活躍で国際大会が運営されていることに気づき、社会の一員としてのキャリア教育を今回郊外で体感できたことは、5年生の皆さんにとって財産となることでしょう。



飯塚市関係各課をはじめとする上記関係の皆さんの協力で伊岐須小の子ども達がキャリア形成の一翼を担ってくださったことに感謝申し上げます。

※世界ランカーのアンドリュース選手からは撮影許可済みですし、ロゴマークは車いすテニス協会様に許可済み、飯塚市役所ロビーのモニターで流れるスライドショーより個人が特定できない形で活用を関係課より許可済みです。31歳にして、プロスポーツジムの社長であり冬はウィルチェアスノーボーダーであり、プロウィルチェアテニスプレイヤーのアンドリュース選手の活躍をこれからもずっとずっと願っております。

